

2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年 11月 2日

喜びを創り喜びを提供する

寿
心  寿スピリッツ

<http://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222



2017年3月期 第2四半期決算概要

2017年3月期 第2四半期(累計)決算の特徴

首都圏展開の推進、インバウンド対策の強化など重点施策の遂行により、経常利益は、本年2月に連結範囲に含めたフランスの季節変動によるマイナス影響を吸収し、前年同期に続き最高益を更新。

重点施策の当第2四半期累計の売上実績

①インバウンド売上(主要国内国際線空港売上)

当第2四半期累計実績 **817**百万円(対前年同期比 **+532**百万円)

②海外売上(台湾、韓国、香港、その他)

当第2四半期累計実績 **275**百万円(対前年同期比 **+91**百万円)

③首都圏主要売上(シュクレイ、アイボリッシュ、グラッシエル)

当第2四半期累計実績 **2,344**百万円(対前年同期比 **+514**百万円)

①～③合計 3,437百万円
(対前年同期比 +1,137百万円)

2017年3月期第2四半期(累計)の業績ハイライト①

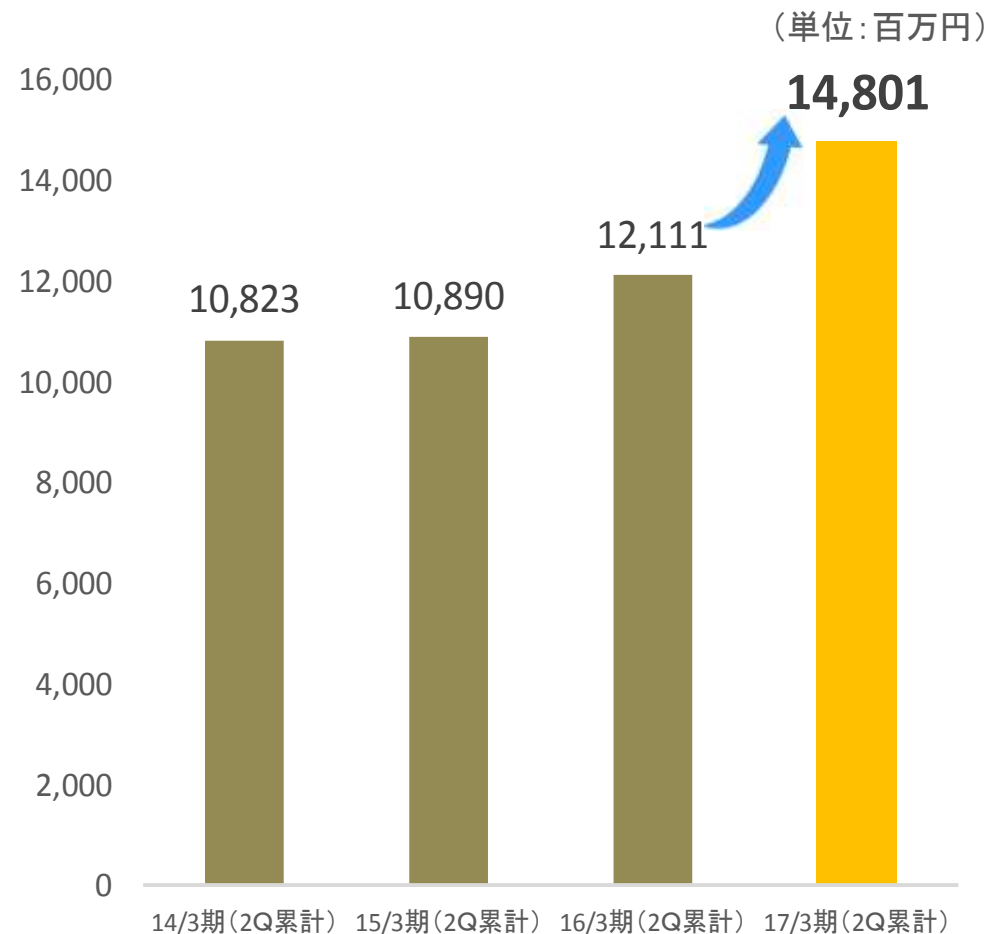
売上高



14,801 百万円
(前年同期比22.2%増)

●期間限定出店展開及び季節イベント対策の推進、インバウンド対策を含む卸売の強化など積極的施策が奏功。また、2016年2月よりグループに加入したフランセの売上高1,490百万円が加わり、第2四半期累計として**過去最高売上高を更新**。

フランセを除く売上高 13,311百万円
(前年同期比9.9%増)



2017年3月期第2四半期(累計)の業績ハイライト②

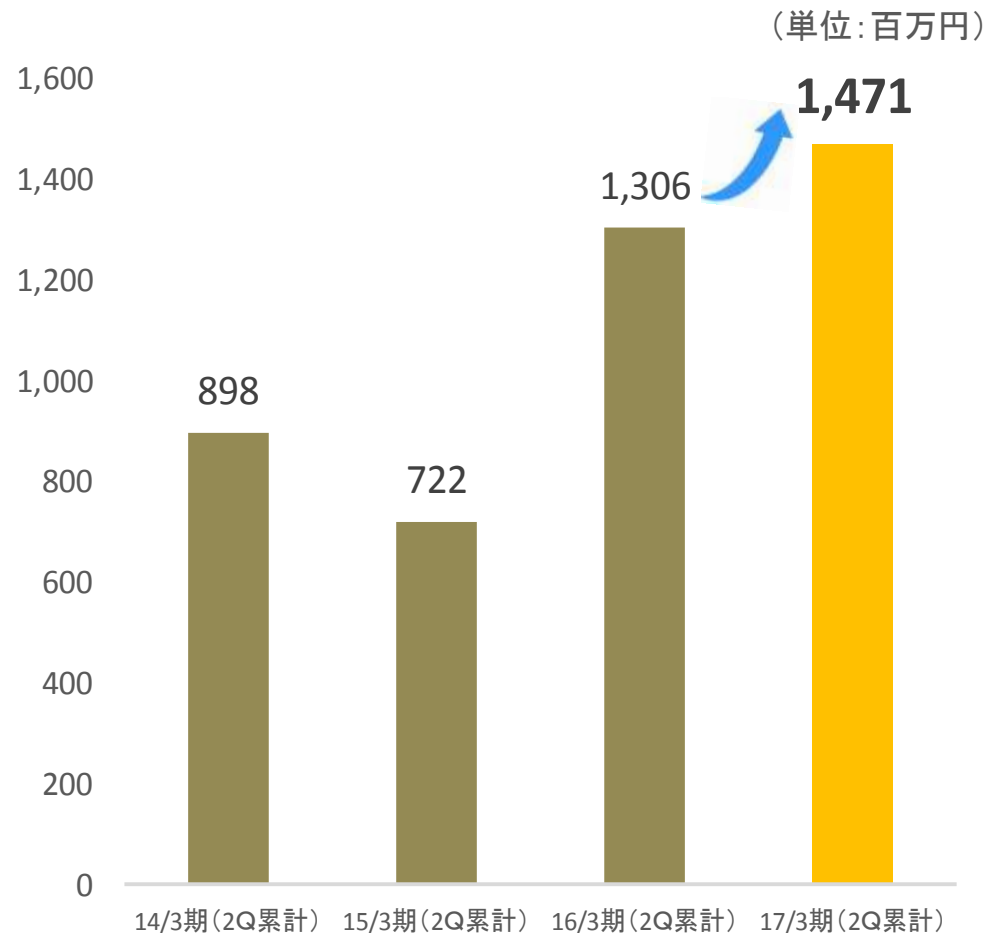
経常利益



1,471 百万円
(前年同期比12.7%増)

●増収効果に加え、生産の効率化により、売上総利益率が前年同期に対し0.8ポイント増加。フランスの季節変動によるマイナス影響を吸収した結果、2期連続**過去最高益**を更新。

フランスを除く経常利益 1,700百万円
(前年同期比30.1%増)



上半期のトピックス①

シュクレイ 販売力強化により首都圏での多ブランド展開を更に加速
 (2Q累計売上高 **2,431**百万円 前年同期比 **+36.5%**/営業利益**308**百万円 同 **+65.8%**)



ザ・メープルマニア 東京駅グランスタ店 リニューアルオープン(7月)



ザ・メープルマニア催事 阪急うめだ本店(9月)

シュクレイの売上高(前年比較) (百万円)

	16/3期 2Q累計	17/3期 2Q累計	増減	増減比
店舗	1,228	1,296	69	5.6%
催事	356	611	255	71.7%
通販	33	43	10	29.5%
卸	164	480	316	192.3%
計	1,781	2,431	650	36.5%

上半期のトピックス②

シュクレイ 新ブランド・新販売チャンネルでの販売を強化



新ブランド
Butter Butler(新宿 NEWoMan) 2016年4月オープン



東京ミルクチーズ工場
東名高速道路 海老名SA(下り) - 6 -



新ブランド
GENDY(南青山骨董通り) 2016年4月オープン

2017年3月期第2四半期(累計)業績(対前年同期)

売上総利益率 対前年同期比0.8ポイント増加

(百万円、%)	前第2四半期 (15年4月～9月)		当第2四半期 (16年4月～9月)		対前年同期		前期(参考) (15年4月～16年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	12,111	—	14,801	—	2,691	22.2	26,612	—
売上総利益	6,536	54.0	8,110	54.8	1,573	24.1	14,701	55.2
販売管理費	5,256	43.4	6,657	45.0	1,401	26.7	11,424	42.9
営業利益	1,280	10.6	1,453	9.8	172	13.4	3,277	12.3
経常利益	1,306	10.8	1,471	9.9	165	12.7	3,326	12.5
四半期(当期)純利益※1	966	8.0	863	5.8	△ 103	△ 10.7	2,305	8.7
EPS(円)※2	31.05		27.72		△ 3.33	△ 10.7	74.08	

※1 四半期(当期)純利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

※2 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2016年3月期のEPS数値につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

- ・ 四半期純利益は、前年同期は税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が一時的に低かったため、当第2四半期の税金負担が前年同期に比べ増加した結果、減益となる。

セグメント別の業績(対前年同期)

ケイシイシイ、寿製菓・但馬寿、シュクレイの好調により、
フランスの季節変動要因によるマイナスを吸収し、営業利益は増益を確保

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第2Q	当第2Q	増減額	増減率	前第2Q	当第2Q	増減額
ケイシイシイ	3,899	4,264	364	9.3	352	423	71
寿製菓・但馬寿	4,591	4,948	358	7.8	410	635	225
販売子会社	2,469	2,505	36	1.5	175	180	6
シュクレイ	1,781	2,431	650	36.5	186	308	122
九十九島グループ	1,694	1,612	△ 83	△ 4.9	49	△ 20	△ 69
フランス	—	1,490	—	—	—	△ 230	—
その他	102	113	11	10.8	△ 28	△ 38	△ 10
セグメント計	14,536	17,362	2,827	19.4	1,143	1,258	115
調整額	△ 2,425	△ 2,561	△ 136	5.6	137	194	57
合計	12,111	14,801	2,691	22.2	1,280	1,453	172

第2四半期 主要セグメントの状況

ケイセイシイ	リニューアルした焼き菓子商品「ビスキュイ・オ・フロマージュ」を投入し、商品充実化を図る。道内店舗における販促強化、国内主要国際空港での提案営業の強化、台湾・韓国などのアジア圏における事業推進などにより増収・増益。
寿製菓・但馬寿	売上増大に向け、グループ各社及び代理店との連携強化による新商品開発及び主力商品対策を推進。製造稼働率向上などによる採算改善が寄与し、増収・増益。
販売子会社	東海地区では「小倉トーストラングドシャ」、福岡地区では「まっかな苺のラングドシャ」など、主力商品の販売強化に注力。関西地区では、関西国際空港でのインバウンド対策を推進し、増収・増益。
シュクレイ	4月に新宿ニューマンに「Butter Butler」、南青山に「GENDY」を新規出店。期間限定出店展開及び季節イベント対策の推進、インバウンド対策を含む卸売の強化などに注力し増収・増益。2月末に閉鎖となった「ザ・メープルマニア」東京駅グランスタ店は、7月に地下1F丸の内坂に移転リニューアル。
九十九島グループ	4月に発生した熊本地震の影響により長崎・佐世保地区が低迷し、減収・減益。フレンチトースト専門店「Ivorish」は、知名度向上に向け首都圏での期間限定出店を推進。
フランセ	事業の特性による季節変動要因により、営業損失計上。製造ラインの統合・新設、ブランド再構築など経営の抜本的な見直しを推進。商品面では期間限定の新商品2品を発売し、販売強化に努める。

売上高(販売チャンネル別)

卸売・フランセの影響及びインバウンド対策など、駅・空港での拡販が寄与し大きく伸長

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	12,111	—	14,801	—	2,691	22.2	26,612	—
通信販売	947	7.8	876	5.9	△ 72	△ 7.6	2,301	8.6
(内ルタオ通販)	758	6.3	677	4.6	△ 80	△ 10.6	1,898	7.1
店舗販売	4,922	40.6	6,254	42.3	1,332	27.1	11,336	42.6
卸売	6,041	49.9	7,380	49.9	1,339	22.2	12,397	46.6
海外	187	—	275	1.9	89	47.4	550	2.1
その他	13	0.1	16	0.1	3	23.4	28	0.1

(注)店舗販売は、主に直営店舗、催事など

卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど

その他は健康食品事業、損害保険代理業など

・フランセ売上高1,490百万円(内訳:店舗販売834百万円、卸売637百万円、通販20百万円)

売上原価・売上総利益

売上総利益率は、フランセを除いた場合前年同期に対し、2.0ポイント増加
製造ラインの生産効率の改善、価格改定などが寄与

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	12,111	—	14,801	—	2,691	22.2	26,612	—
材料費	3,051	25.2	3,695	25.0	644	21.1	6,449	24.2
労務費	1,439	11.9	1,717	11.6	278	19.3	3,023	11.4
製造経費	630	5.2	820	5.5	190	30.2	1,409	5.3
製造原価計	5,119	42.3	6,232	42.1	1,112	21.7	10,881	40.9
その他	455	3.8	460	3.1	5	1.1	1,030	3.9
売上原価合計	5,574	46.0	6,692	45.2	1,117	20.0	11,911	44.8
売上総利益	6,536	54.0	8,110	54.8	1,573	24.1	14,701	55.2

販売管理費・営業利益

販売管理費増加額1,401百万円の内、フランセの影響額は880百万円

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	6,536	54.0	8,110	54.8	1,573	24.1	14,701	55.2
人件費	2,231	18.4	2,920	19.7	689	30.9	4,684	17.6
販売促進費	846	7.0	1,085	7.3	238	28.2	2,002	7.5
運賃	387	3.2	533	3.6	146	37.7	869	3.3
広告宣伝費	107	0.9	107	0.7	0	0.1	219	0.8
地代家賃	603	5.0	806	5.4	203	33.7	1,325	5.0
減価償却費	153	1.3	164	1.1	11	7.1	338	1.3
旅費交通費	191	1.6	229	1.5	38	20.0	405	1.5
その他	738	6.1	813	5.5	75	10.2	1,583	5.9
販売管理費	5,256	43.4	6,657	45.0	1,401	26.7	11,424	42.9
営業利益	1,280	10.6	1,453	9.8	172	13.4	3,277	12.3

・ 人件費の増加は、フランセの影響376百万円、販売部門を中心に採用増加。

公表数字に対する達成率

経常利益 対期初予想達成率119.6%

(百万円、%)	期初予想※1		当第2四半期累計		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	14,380	—	14,801	—	421	102.9
売上総利益	7,830	54.5	8,110	54.8	280	103.6
販売管理費	6,610	46.0	6,657	45.0	47	100.7
営業利益	1,220	8.5	1,453	9.8	233	119.1
経常利益	1,230	8.6	1,471	9.9	241	119.6
四半期純利益 ※2	710	4.9	863	5.8	153	121.5

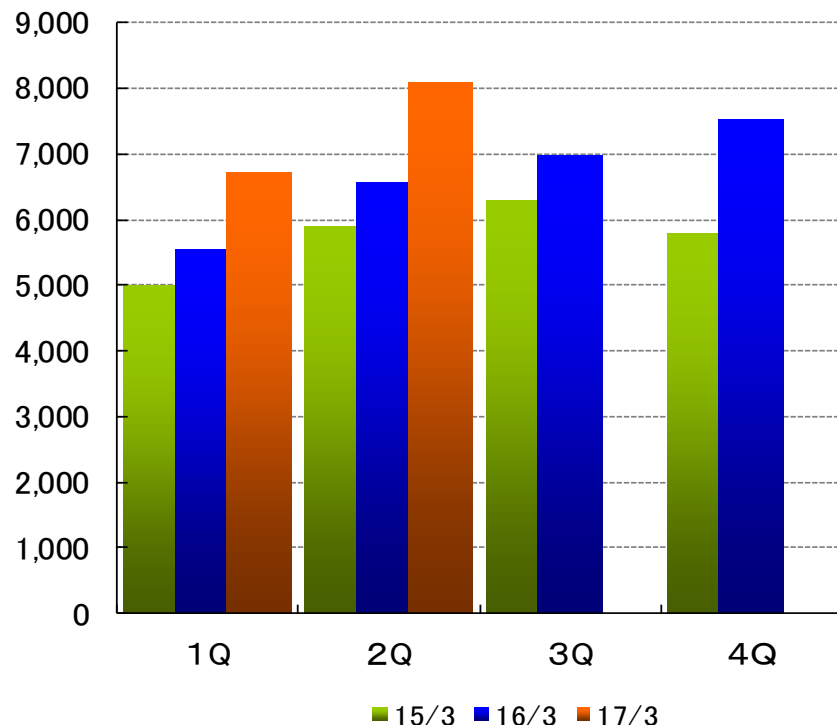
※1 期初予想は、2016年5月12日付公表数字

※2 四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

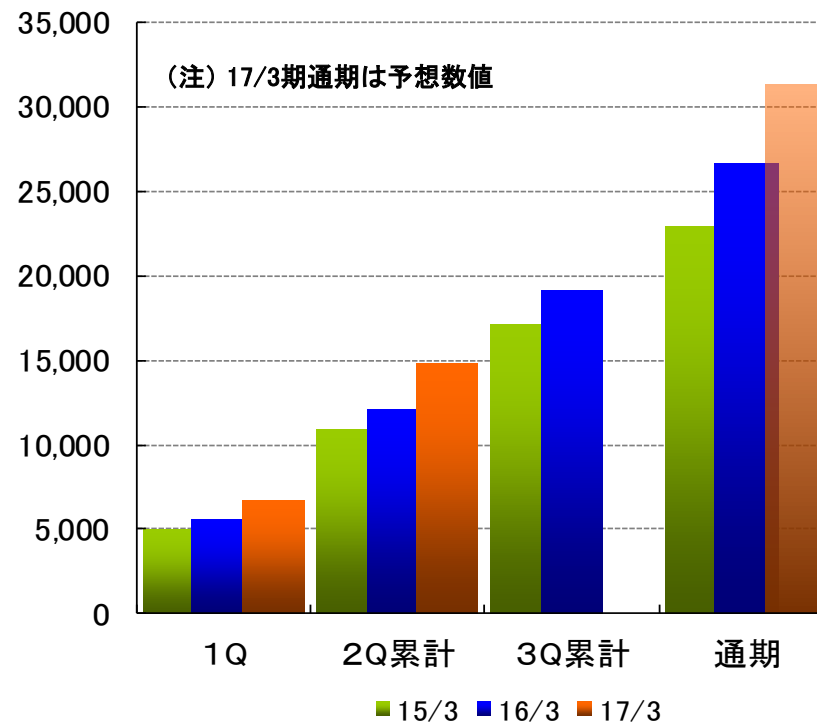
四半期業績の推移(売上高)

売上高 第1四半期21.3%増 第2四半期23.0%増

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較

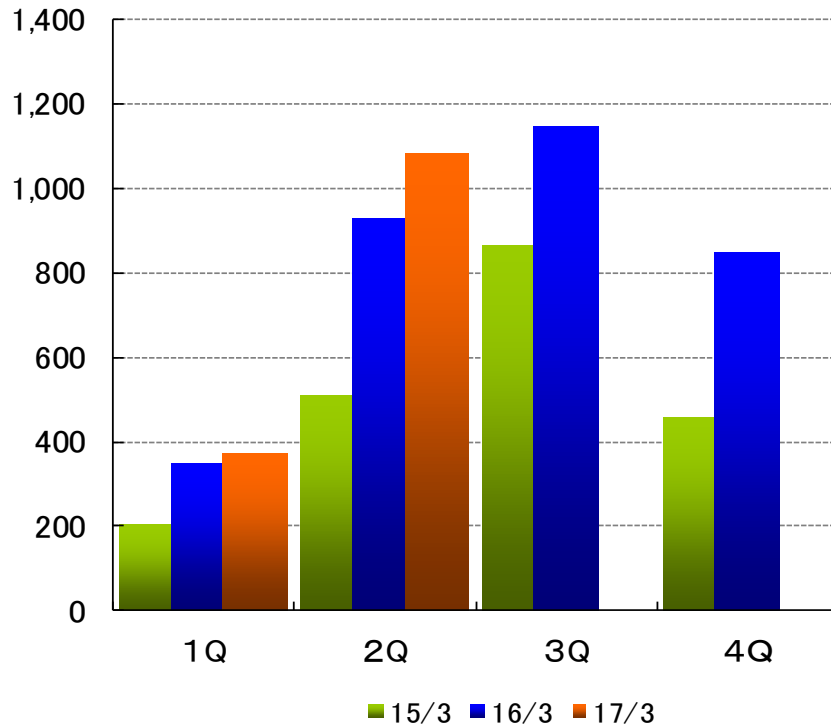


	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
15/3	5,001	5,889	6,275	5,802	5,001	10,890	17,165	22,967
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
17/3	6,724	8,077			6,724	14,801		31,370
増減率	21.3%	23.0%			21.3%	22.2%		17.9%

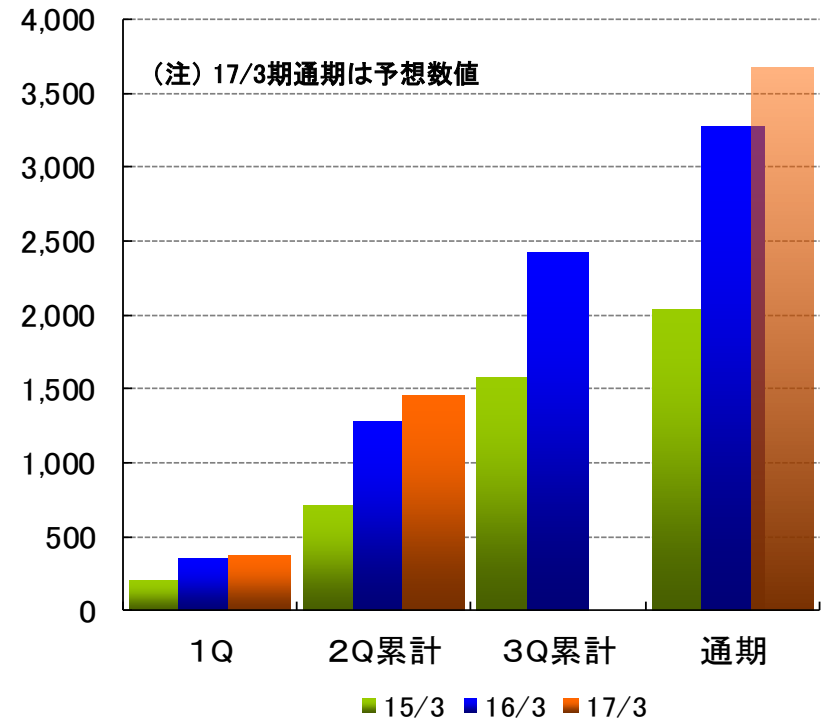
四半期業績の推移(営業利益)

営業利益 第1四半期6.6%増 第2四半期16.0%増

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
15/3	202	510	866	455	202	712	1,578	2,034
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277
17/3	373	1,080	-	-	373	1,453	-	3,680
増減率	6.6%	16.0%	-	-	6.6%	13.4%	-	12.3%

貸借対照表

自己資本比率 対前期末比2.5ポイント増加

(百万円、%)	15年3月期		16年3月期		17年3月期2Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	6,606	45.0	8,517	47.5	8,053	45.9	△ 464	△ 5.5
固定資産	8,089	55.0	9,420	52.5	9,510	54.1	90	1.0
資産合計	14,695	100.0	17,937	100.0	17,563	100.0	△ 374	△ 2.1
流動負債	4,260	29.0	4,819	26.9	4,397	25.0	△ 422	△ 8.8
固定負債	1,456	9.9	2,346	13.1	2,173	12.4	△ 173	△ 7.4
負債合計	5,716	38.9	7,165	39.9	6,570	37.4	△ 595	△ 8.3
純資産	8,979	61.1	10,772	60.1	10,993	62.6	221	2.1
負債純資産合計	14,695	100.0	17,937	100.0	17,563	100.0	△ 374	△ 2.1
BPS(円)	288.53		346.14		353.25		7.11	2.1
設備投資額	599		797		600			
減価償却費	637		736		397			

※ 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2015年3月期・2016年3月期のBPS数値につきましては2015年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フロー 前年同期比30.5%増

(百万円、%)	15年3月期	16年3月期		17年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動CF	1,896	995	3,244	1,177	182	18.3
投資活動CF	△ 834	△ 341	△ 2,343	△ 325	17	△ 4.9
フリーCF	1,062	653	901	852	199	30.5
財務活動CF	△ 997	△ 880	△ 284	△ 1,033	△ 153	17.4
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△ 4	△ 6	△ 4	△ 1	20.6
cash増減	65	△ 226	617	△ 181	46	△ 20.2
cash期首	2,491	2,555	2,555	3,254	699	27.3
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	88	88	—	—	—
cash期末	2,555	2,413	3,254	3,069	656	27.2
有利子負債	2,025	1,572	2,178	1,778	207	13.1
現金・預金	2,755	2,613	3,454	3,069	456	17.4
ネット有利子負債※	△ 730	△ 1,042	△ 1,276	△ 1,291	△ 249	23.9

※ ネット有利子負債(有利子負債－現金・預金)



2017年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は、期初予想からの変更はありません。)

2017年3月期 通期業績予想(前年対比)

売上高31,370百万円(前期比17.9%増)、経常利益3,700百万円(前期比11.3%増)
 フランセ影響除く 売上高27,270百万円(前期比6.1%増)、経常利益3,477百万円(前期比8.8%増)

(百万円、%)	16年3月期		17年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	26,612	-	31,370	-	4,758	17.9
売上総利益	14,701	55.2	17,410	55.5	2,709	18.4
販売管理費	11,424	42.9	13,730	43.8	2,306	20.2
営業利益	3,277	12.3	3,680	11.7	403	12.3
経常利益	3,326	12.5	3,700	11.8	374	11.3
純利益	2,305	8.7	2,410	7.7	105	4.5
EPS(円)※	74.08		77.44		3.36	4.5
1株当たり配当金(円)※	20.00		25.00		5.00	25.0
設備投資	797		1,100		303	38.0
減価償却費	736		850		114	15.5

※ 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

2016年3月期のEPS数値及び1株当たり配当金につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

2017年3月期 通期業績予想のポイント

●予想スタンス

上期業績は、堅調に推移しているものの、下期の事業環境は依然として先行き不透明なため、期初予想を据え置いている。

●フランセの影響

フランセの損益構造は、事業・商品特性による季節変動要因により、売上面・利益面共に下期にウエイトが高くなる。現在、進行中の経営の抜本的見直し(工場改善、ブランド再構築など)の影響は、下期から改善を見込む。

(フランセ業績予想) (単位:百万円)

	上期(実績)	下期(予)	通期(予)
売上高	1,490	2,610	4,100
営業利益	△ 230	342	112

●地震の影響

熊本地震発生で、観光客減少の影響で苦戦した九十九島グループ(長崎・佐世保)は、下期は回復見込む。10月に発生した鳥取県中部地震の影響は、鳥取県の観光客減少が見込まれるものの影響は限定的。

●設備投資・減価償却

設備投資計画は、グループ全体で1,100百万円を予想、減価償却費予想は850百万円。

●下期新規出店等

新規4店舗、移転改装1店舗いずれも商業施設内の小規模店舗。当該出店計画は、期初計画に織り込んでいない。投資額は全体で1億円、当期売上予想は1.5億円、営業損益はトントンの見込み。

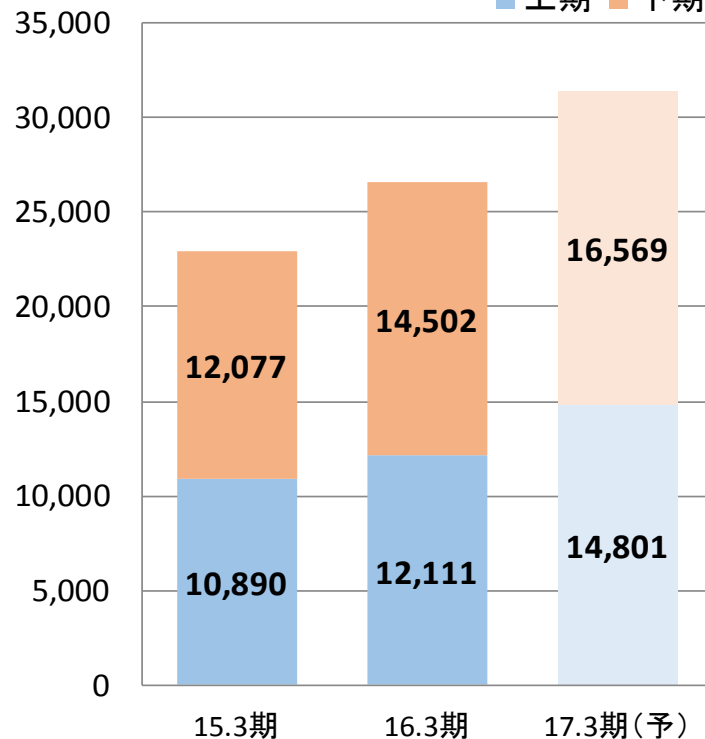
【シュクレイ】「東京ミルクチーズ工場」の新宿ルミネ店がフロア改装に伴い移転増床(10月末)、同エリア内に「築地ちとせ」新規出店(11月) /【ケイシイシイ】札幌ステラプレイスに「グラッセル」カフェ・物販店舗(11月)、新千歳空港に直営2号店を出店(11月) /【九十九島グループ】、長崎駅商業施設に新ブランド物販(11月末)

2017年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

(百万円)

売上高

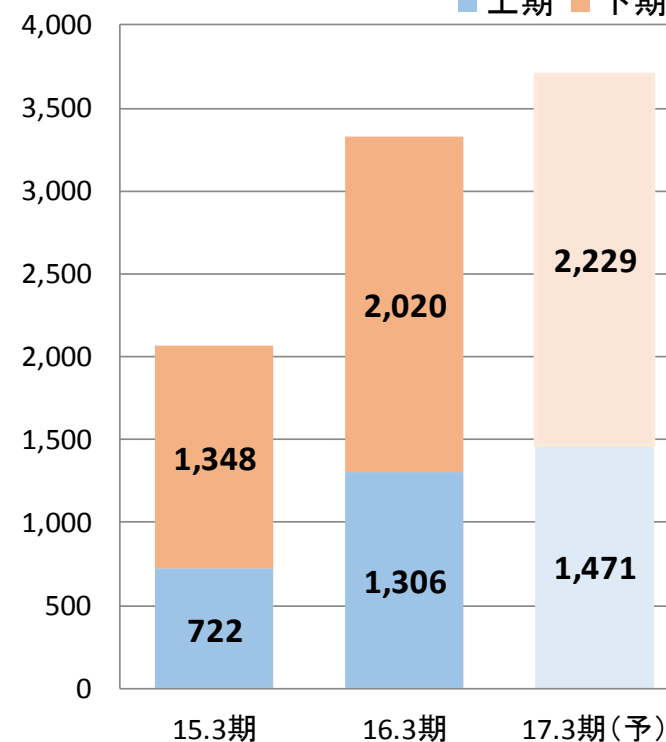
■ 上期 ■ 下期



(百万円)

経常利益

■ 上期 ■ 下期



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比	15.3期	構成比	16.3期	構成比	17.3期(予)	構成比
上期	10,890	47.4%	12,111	45.5%	14,801	47.2%	722	34.9%	1,306	39.3%	1,471	39.8%
下期	12,077	52.6%	14,502	54.5%	16,569	52.8%	1,348	65.1%	2,020	60.7%	2,229	60.2%
通期	22,967	100.0%	26,612	100.0%	31,370	100.0%	2,070	100.0%	3,326	100.0%	3,700	100.0%

2017年3月期 通期業績予想(セグメント別)

新生「フランセ」が傘下に加わり、引き続き重点施策の推進により、過去最高益更新を目指す

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	16/3月期	17/3月期予	増減額	増減率	16/3月期	17/3月期予	増減額
ケイシイシイ	9,095	9,700	605	6.7	1,290	1,430	140
寿製菓・但馬寿	8,867	9,460	593	6.7	671	722	51
販売子会社	4,868	5,140	272	5.6	330	395	65
シュクレイ	3,818	4,380	562	14.7	436	480	44
九十九島グループ	3,554	3,590	36	1.0	85	62	△ 23
フランセ※	917	4,100	3,183	346.9	129	112	△ 17
その他	227	310	83	36.7	△ 45	△ 64	△ 19
セグメント計	31,345	36,680	5,335	17.0	2,896	3,137	241
調整額	△ 4,732	△ 5,310	△ 578	12.2	381	543	162
合計	26,612	31,370	4,758	17.9	3,277	3,680	403

※ フランセの16/3期実績は、連結の範囲に含めた2016年2月～3月までの2ヶ月間が計上されております。



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2016年経営スローガン

WSR²

ダブルエスアール・ダブルエスアール

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
ワールド(W) **世界へ**
サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

重点項目

4つの重点施策と全員参画型経営の実践強化

目標指標

売上高経常利益率 **20%**

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

当面の重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・寿スピリッツ流営業の推進により、国際空港での催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



東京ミルクチーズ工場



東京ミルクチーズ工場 成田空港

Nostalgic Modern.
LeTAO
 Northern Sweets Manner



LeTAO 成田空港



KYOTO VENETO 中部国際空港

当面の重点施策

②海外展開 (海外における事業モデルの構築)

・アジアを中心に直接進出、フランチャイズ方式、合併方式、OEMなど

台湾

韓国

香港



直接進出



フランチャイズ方式



合併方式

当面の重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 多ブランド展開の更なる推進 関東主要SA・PAへ進出
- ・グループ各社による期間限定店舗展開の推進



当面の重点施策

④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

・美味しさの追求と、少チャンネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進

小樽
洋菓子
舗
ル
タ
オ

Nostalgic Modern
LeTAO
Northern Sweets Manner

ビス
キュ
イ
オ
フ
ロ
マ
ー
ジ
ユ

当面の重点施策数値目標

①～③の重点施策目標数値 2年後の2018.3期に 100億円突破を目指す。

(単位：百万円)

	実績 2015/3期	実績 2016/3期	目標数値 2018/3期	増減
①インバウンド売上	234	810	2,500	1,690
②海外売上	0	550	1,500	950
③首都圏主要売上	3,058	3,850	6,000	2,150
① + ② + ③	3,292	5,210	10,000	4,790

①インバウンド売上…国内主要国際空港での売上

②海外売上…台湾（現地法人売上）、韓国・香港などは国内出荷売上（ロイヤルティ含む）

③首都圏主要売上…シュクレイ（インバウンド除く）、アイボリッシュ、グラッシェルの首都圏売上

（注）上記金額には、新たに連結の範囲に含めた「フランセ」の数値は含まれていない。

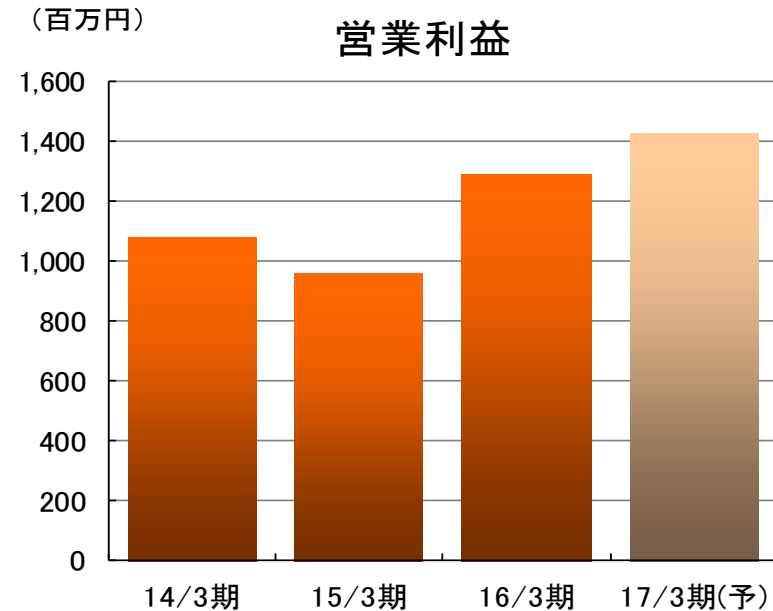
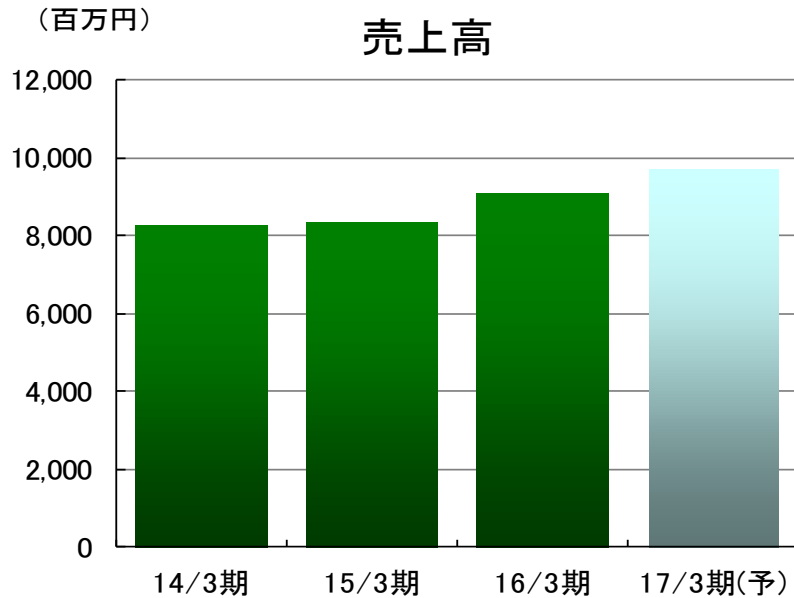
セグメント別概況

- ケイシイシイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- シュクレイ
- 九十九島グループ
- フランセ
- その他



《ケイシイシイ》

当期予想:売上高 **9,700**百万円(前期比**+6.7%**)営業利益 **1,430**百万円(同**+10.9%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,267	8,331	9,095	764	9.2	9,700	605	6.7
売上総利益	4,913	4,947	5,535	588	11.9	5,924	389	7.0
粗利率	59.4	59.4	60.9	1.5		61.1	0.2	
販売管理費	3,834	3,991	4,245	254	6.4	4,494	249	5.9
営業利益	1,079	957	1,290	333	34.9	1,430	140	10.9

《ケイシイシイ》

LeTAO × イベント × WSRを推進

・街を巻き込んだイベントとオリジナルスイーツで特別な世界観を創造



OTARU SWEET HALLOWEEN (10月)

《ケイシイシイ》

海外展開：香港の高級ショッピングモールにLeTAOを出店

・圧倒的な発信力のあるエリアへの出店により、高いブランド価値を創出

Nostalgic Modern.
LeTAO
Northern Sweets Manner



LeTAO 香港IFCモール店 オープン(10月)

《ケイシイシイ》

海外展開：韓国で5店舗目となるLeTAOを出店

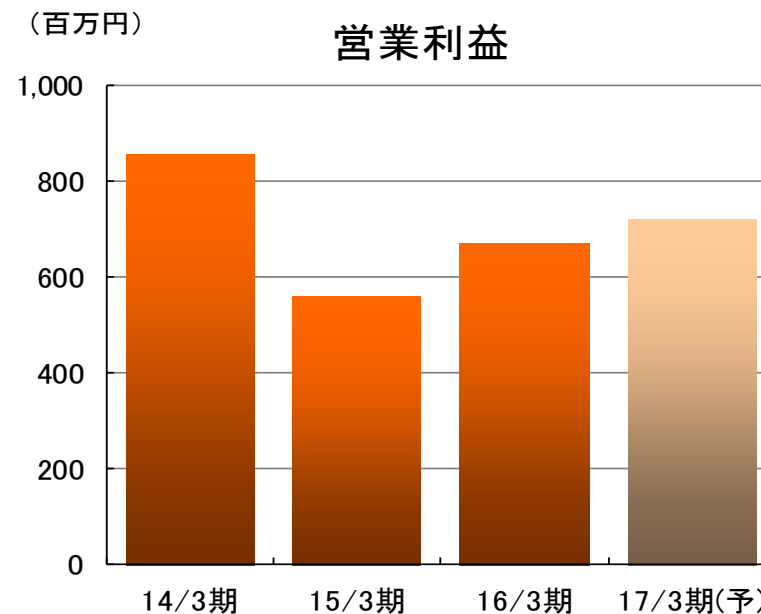
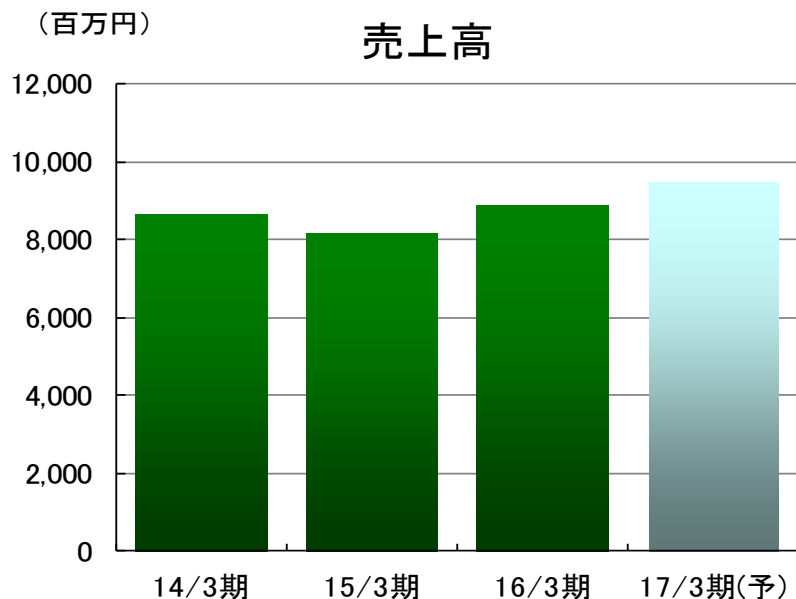
・現地パートナー企業と連携を強化し、グローバルブランドとして世界へ発信



LeTAO 韓国スターフィールドハナム店 オープン(9月)

《寿製菓・但馬寿》

当期予想:売上高 **9,460**百万円(前期比**+6.7%**)営業利益 **722**百万円(同**+7.5%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,641	8,140	8,867	727	8.9	9,460	593	6.7
売上総利益	3,303	2,976	3,328	352	11.8	3,487	159	4.8
粗利率	38.2	36.6	37.5	1.0		36.9	△ 0.7	
販売管理費	2,445	2,417	2,657	240	9.9	2,765	108	4.1
営業利益	858	560	671	112	20.0	722	51	7.5

《寿製菓・但馬寿》

重点対策：新商品開発・主力商品強化・販路開拓

- ・発売50周年を迎える因幡の白うさぎの更なるシェア拡大
- ・グループ会社・代理店との連携を強化

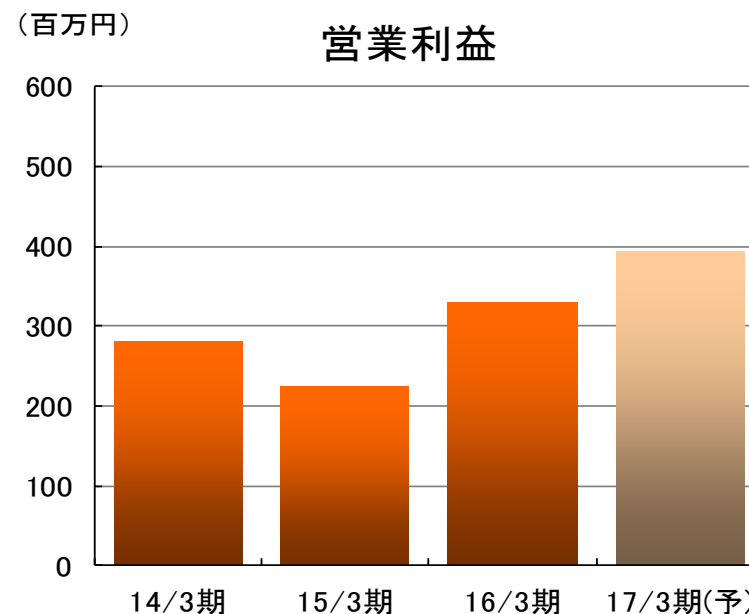
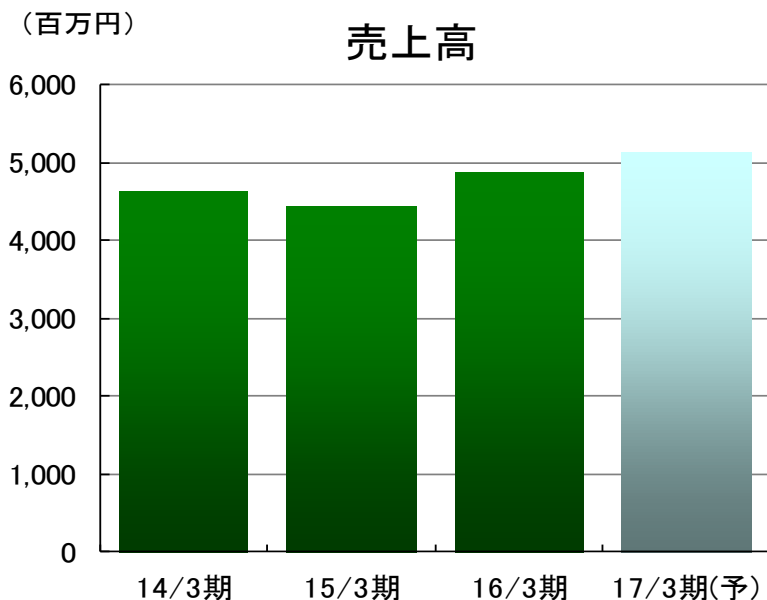


山陰名菓 因幡の白うさぎ

INABA no SHIRO USAGI

《販売子会社》

当期予想:売上高 **5,140**百万円(前期比**+5.6%**)営業利益 **395**百万円(同**+19.8%**)



販売子会社

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,619	4,434	4,868	433	9.8	5,140	272	5.6
売上総利益	1,399	1,355	1,550	195	14.4	1,695	145	9.3
粗利率	30.3	30.6	31.8	1.3		33.0	1.1	
販売管理費	1,118	1,130	1,221	90	8.0	1,300	79	6.5
営業利益	281	225	330	105	46.5	395	65	19.8

《販売子会社》

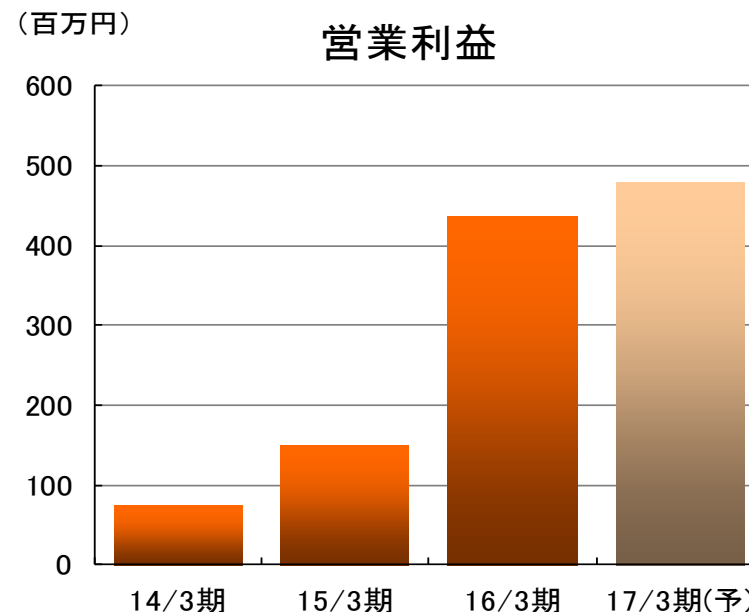
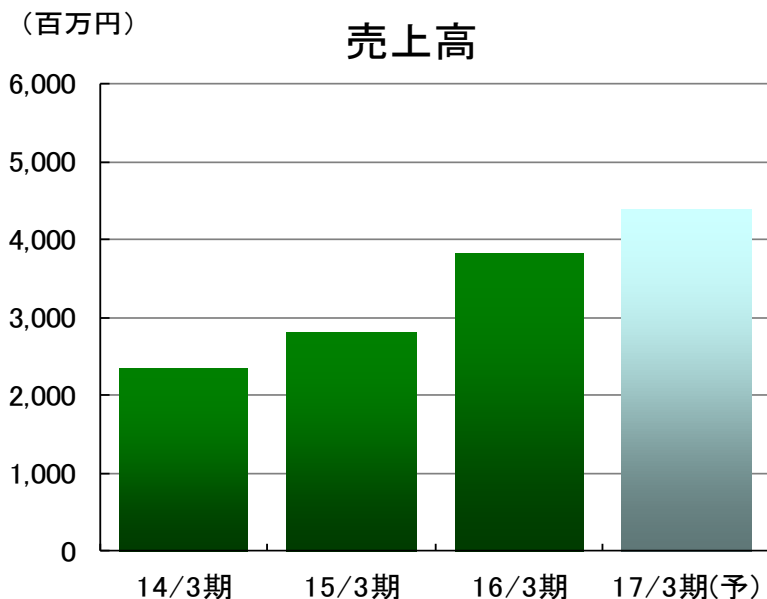
交通拠点チャンネル(駅・空港・SA)での展開強化

・美味しさと品質に徹底的にこだわった主力商品の更なる売上増大を目指す



《シュクレイ》

当期予想:売上高 **4,380**百万円(前期比**+14.7%**)営業利益 **480**百万円(同**+10.1%**)



シュクレイ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,336	2,795	3,818	1,023	36.6	4,380	562	14.7
売上総利益	1,247	1,537	2,202	665	43.2	2,478	276	12.5
粗利率	53.4	55.0	57.7	2.7		56.6	△ 1.1	
販売管理費	1,174	1,388	1,766	378	27.3	1,998	232	13.1
営業利益	74	149	436	286	191.6	480	44	10.1

《シュクレイ》

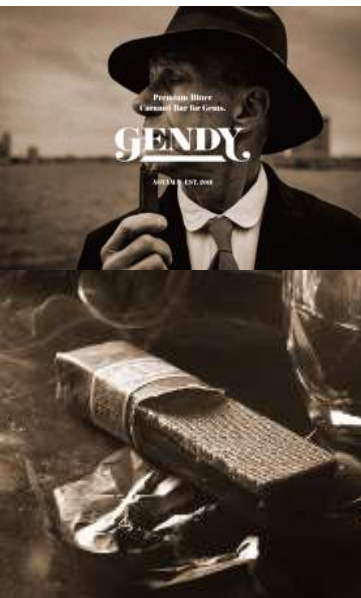
強固なブランドポートフォリオでWSRを推進

- ・既存店舗・催事・駅・空港卸のチャンネルで季節イベント・インバウンド対策を推進
- ・関東主要SA・PAへの展開

固定店(小売店舗)

(店舗数は2016年9月末現在)

GENDY
1店舗



Butter Butler
1店舗



The MAPLE MANIA
1店舗



東京ミルクチーズ工場
8店舗



東京ミルクチーズ工場

築地ちとせ
4店舗

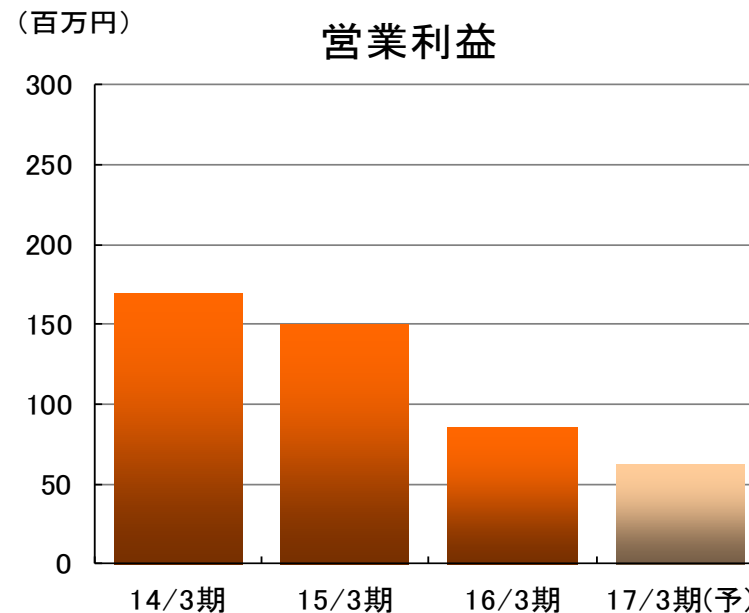
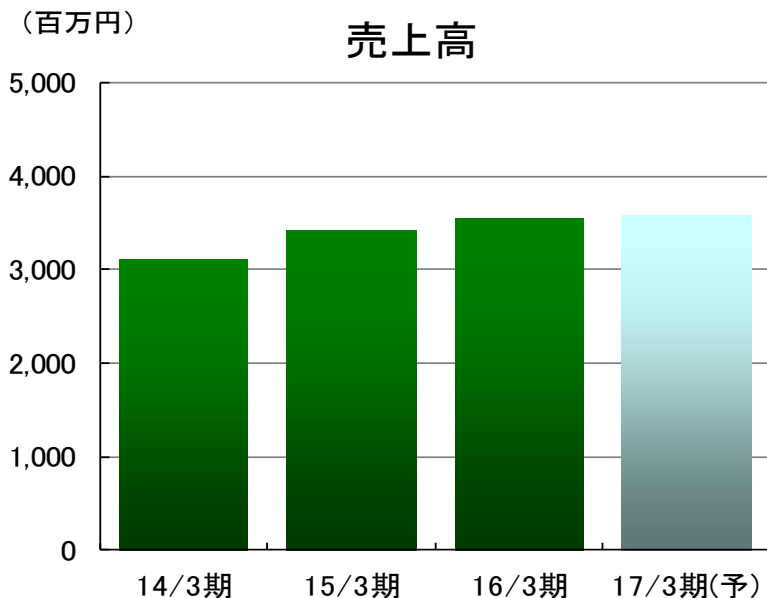


côte cour
2店舗



《九十九島グループ》

当期予想:売上高 **3,590**百万円(前期比**+1.0%**)営業利益 **62**百万円(同**△27.1%**)



九十九島グループ

(百万円,%)	14/3期	15/3期	16/3期	対前期		17/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,104	3,409	3,554	145	4.2	3,590	36	1.0
売上総利益	1,271	1,432	1,525	93	6.5	1,542	17	1.1
粗利率	40.9	42.0	42.9	0.9		43.0	0.0	
販売管理費	1,102	1,283	1,440	157	12.2	1,480	40	2.8
営業利益	169	149	85	△ 64	△ 43.0	62	△ 23	△ 27.1

《九十九島グループ》

主力商品拡販に注力/「Ivorish」首都圏での展開強化

- ・発売65周年を迎えた九十九島せんぺいの更なる拡販に注力



- ・Ivorish 認知度拡大に向け首都圏での物販展開を強化



フレンチトーストギフト「コンテナ」

《フランス》

FRANÇAIS

フランスの当期予想

事業特性による季節変動要因により、上期は低迷するものの、通期業績では連結業績に寄与する見込み

フランス

(百万円,%)	16/3期				17/3期(予)			対前期
	上期	下期	通期	内連結対象	上期(実績)	下期	通期	増減額
売上高	1,664	2,422	4,085	917	1,490	2,610	4,100	15
売上総利益	639	1,225	1,864	465	650	1,510	2,160	296
粗利率	38.4	50.6	45.6	50.7	43.6	57.9	52.7	7.1
販売管理費	850	951	1,800	336	880	1,168	2,048	248
営業利益	△ 211	275	63	129	△ 230	342	112	49

(注)16/3期実績の上期は、監査法人の監査を受けておりません。また、前期実績の内、2月～3月までの2ヶ月間の業績を連結の範囲に含めております。

当期の主な経営改善の取り組み

工場改善

ミルフィユラインの統合(浜松工場・横浜工場の両生産を横浜工場に集約)(5月完了)
 浜松工場にラングドシャラインを新設(グループ向け製品供給と新製品開発)(10月から出荷開始)
 製造工程の一部外注を全て内製化、合理化設備の導入(4月から順次)など

ブランド再構築

ブランドのデザイン・商品等の抜本的な見直し(9月下旬から順次変更)

その他

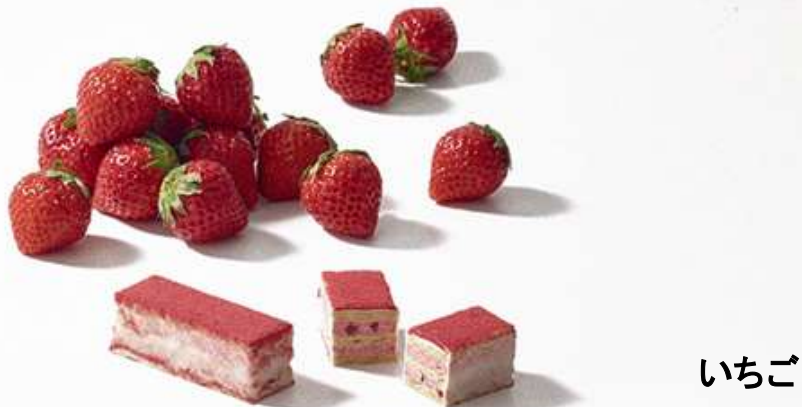
本社機能(営業、開発、経営管理)の一部を横浜・桜木町の新オフィスに移転(8月)
 理念浸透、経営管理システムの変更等

《フランス》

FRANÇAIS

グループ間シナジーの強化により経営の抜本的な見直しを推進

・工場改善、ブランド再構築、理念浸透、経営管理システムの変更等



いちご



れもん

果実をたのしむミルフィユ



ピスタチオ



ジャンドゥーヤ

木の實をたのしむミルフィユ

《その他》

純藍

**純藍 通販事業の本格化に向け、新商品開発
新聞・Web広告による訴求テストを実施中**



藍の青汁



うる藍バリア



青のハーブティー

寿製菓株式会社 国立大学法人島根大学との共同研究

平成28年4月28日に藍のポリフェノール(フラボノイド)の物質特許、製法特許およびコレステロール合成に関わる3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル(HMG)-CoA還元酵素阻害剤としての用途特許を取得



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2016年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

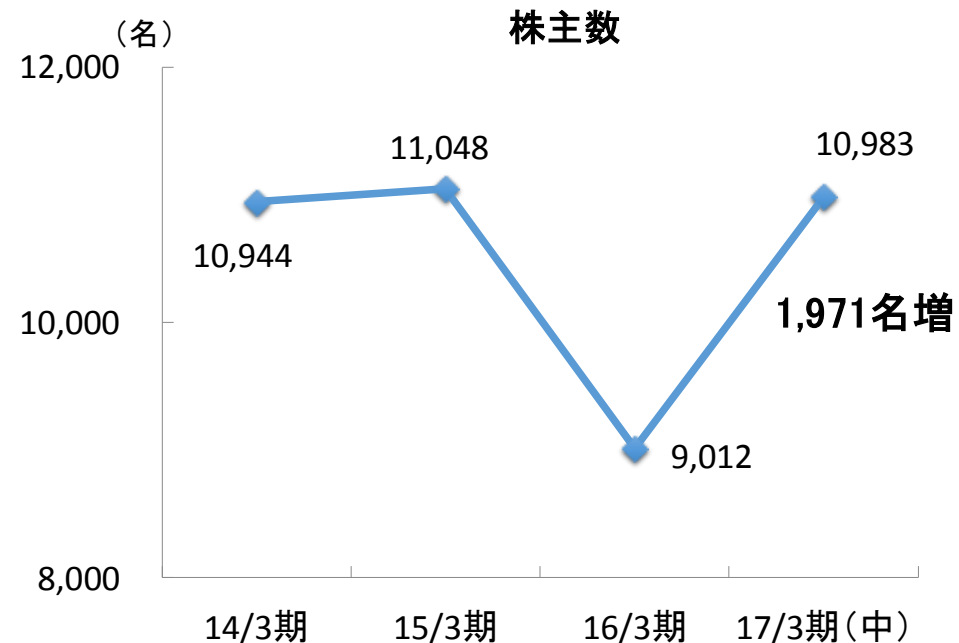
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 10,983名

(対前期末比 1,971名増)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
寿スピリッツ従業員持株会	945,678	3.04
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	926,800	2.98
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	896,800	2.88

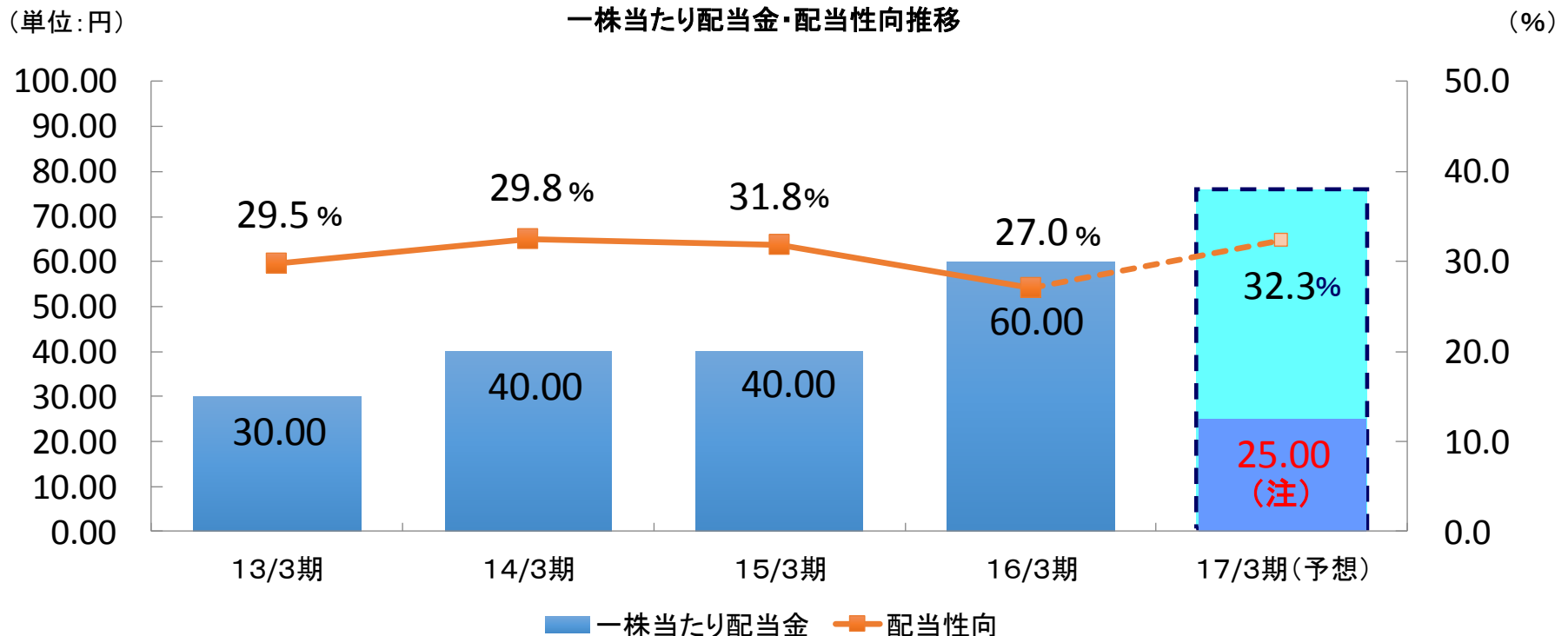
注)出資比率は、自己株式1,605株を除く

株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2017年3月期1株当たり配当金予想 **25円** (注)



(注) 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。予想一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出してあり、分割前に遡及修正して換算すると予想配当額は、1株当たり75円となります。

【2016年度の株主優待商品】

株主優待制度の変更

当社では株主の皆様への利益還元の一つといたしまして株主優待制度を実施しています。

株式分割に伴い、分割後の優待制度の見直しを図り、2017年度より次のとおり株主優待制度を変更いたします。



100株以上ご所有の株主様
2,000円相当の当社グループ商品



200株以上ご所有の株主様
4,000円相当の当社グループ商品

【株主優待券】



現行		変更後	
ご所有株式数	内容	ご所有株式数	内容
100株以上 200株未満	2,000円相当のグループ製品	100株以上 500株未満	2,000円相当のグループ製品
200株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品	500株以上 1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)	1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券 (代替商品送付可)

今後とも寿スピリッツグループを
何卒宜しくお願い致します。

＜お問い合わせ＞

寿スピリッツ株式会社 経営企画部

TEL 0859-22-7477

URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

注意事項

この資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
また、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値、施策実現を確約したり、保証するものではありません。





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体10名・連結1,195名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	266億円(2016年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



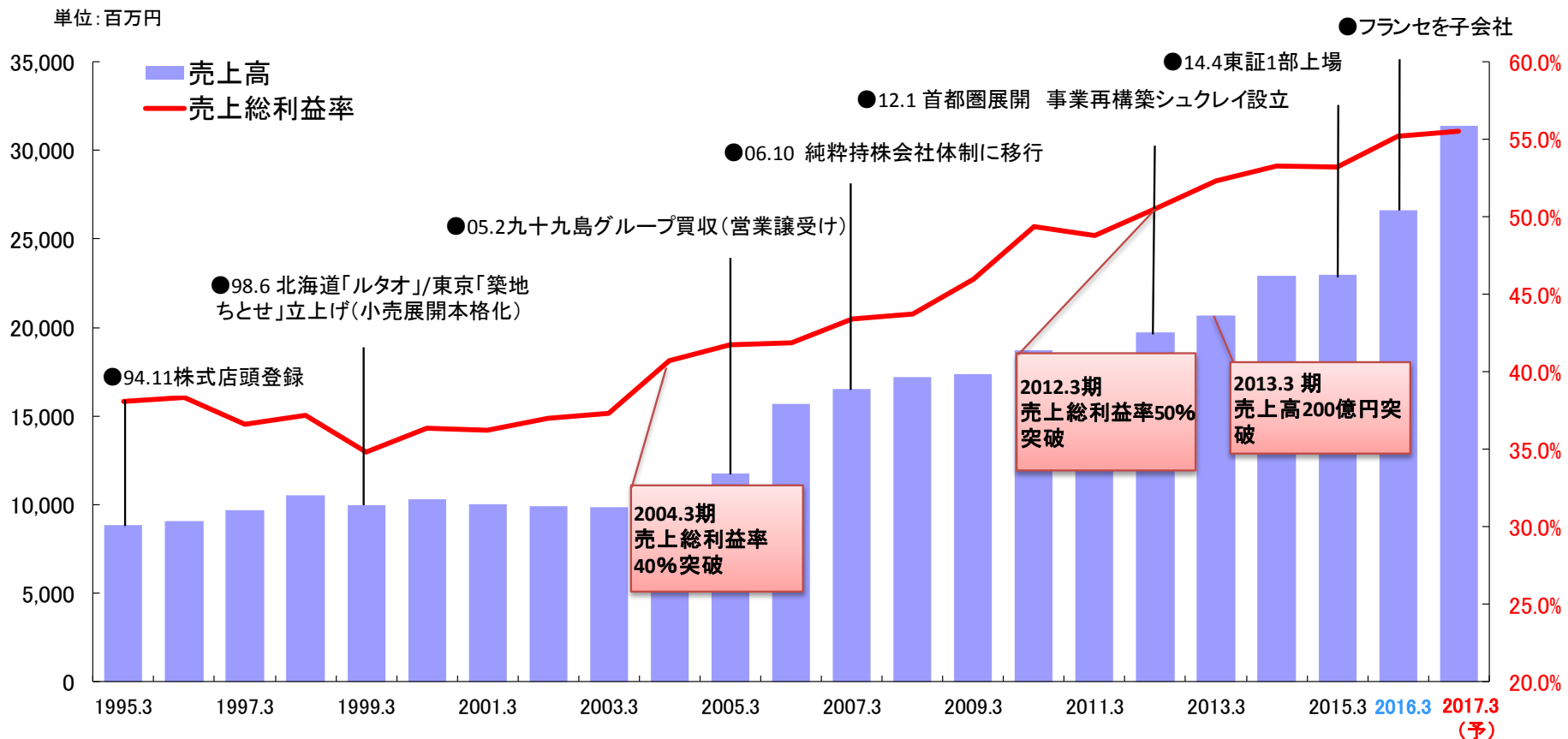
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

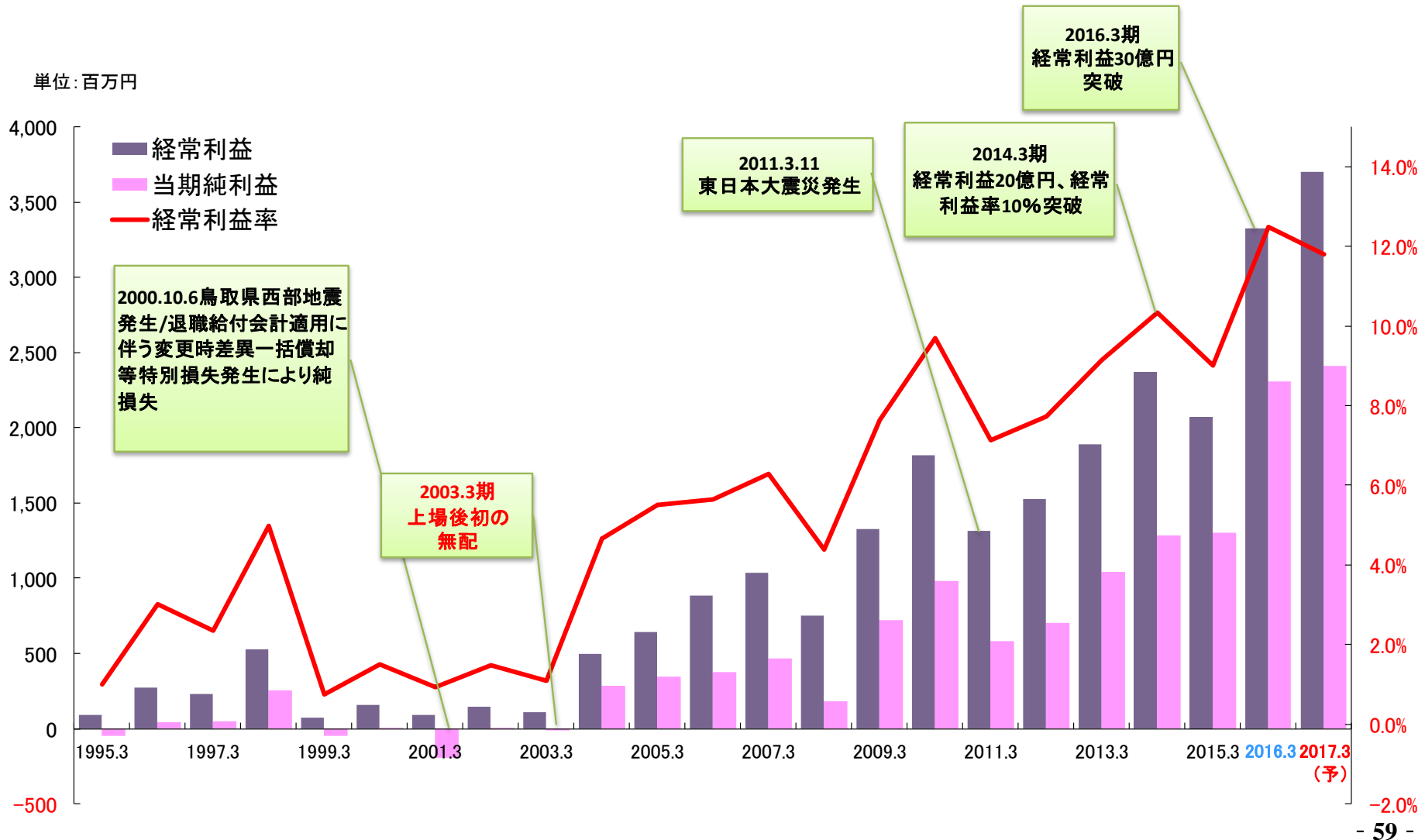
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
 組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



主要ショップブランド



お菓子の **壽城**
(山陰)

遊月亭
(兵庫)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



KONDITIONEIREI KOBE

(神戸)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(佐世保・福岡)



FRANCAIS

(横浜)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nippon's Sweet Memory

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



お菓子の **壽城** 「とち餅」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「九十九島せんべい」



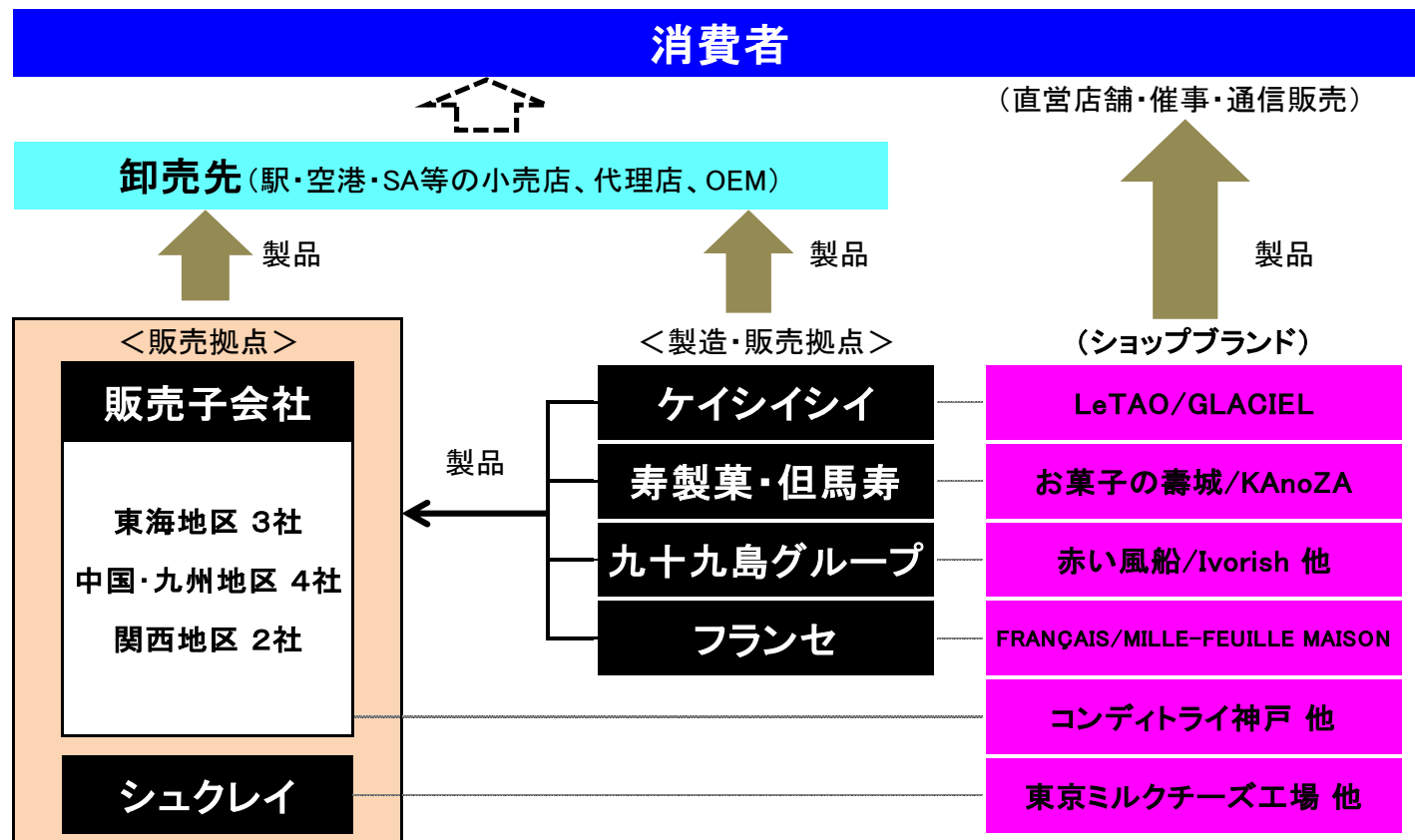
「神戸クリームチーズケーキ」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《ケイシイシイ》

●小樽洋菓子舗ルタオ × 近鉄あべのハルカス本店 親子で楽しむチーズケーキレッスン

LeTAO外山シェフによるチョコバナナチーズタルトの親子参加型特別レッスン。
美味しいお菓子創りの楽しさ、奥深さを親子で学んでいただきました。



《寿製菓・但馬寿》

●奥大山とちの実ボランティア

寿製菓では2008年より毎年9月に江府町にて地元自治体、地元老人会様と共に自生するトチノキの生態調査、枳の実の採取に取り組んできました。本年より、減少するトチノキの個体を増やす活動として、トチノキの植樹を行なっています。



《寿製菓・但馬寿》

● 寿製菓大感謝祭 ～ 壽城秋祭り～

寿製菓・お菓子の壽城を愛する仲間が大集結！

地元山陰のアーティストと共にお菓子の壽城の更なる魅力を発信しました。



《九十九島グループ》

●Ivorish総選挙

フレンチトースト専門店Ivorishの歴代人気メニュー・个性的メニューをピックアップ。
現役・OB・OGスタッフの思いを込めたメッセージとともに、17種類のスイーツが競い合いました。



Ivorish 総選挙

Ivorish 歴代のスイーツの中から特に人気だったものや、个性的だったものをピックアップ。これまでの商品で、惜しまれつつ消えていった商品 No.1を決める総選挙に皆様ご参加ください！※期間中、ご来店1回1投票いただけます。

お会計の際、レジ横にあるパネルにシールを貼ってご投票ください。



<p>3 ブラックフォレスト 見た目の美味しさは歴代No.1! かもしれません。濃厚なチョコと甘酸っぱいチェリージャムのコッラが豪華の一品。アイスクリームと食べれば一味違った印象に! ブラックニシのトッピングが得した気分にもさせてくれますよ! (早稲田/中野)</p>	<p>4 レアチーズ 表面をカリッと焼いたマーブルシロップ系フレンチトーストとレアチーズクリームが最高の相性! 甘っぱいイチゴもトッピングされていて、一食食べたら忘れられません。 (元スタッフ/三軒)</p>	<p>5 エキゾチック これぞ「南国」! 南国の果物、裏切りココナッツシロップとエキゾチックソースが並びっ! 甘酸っぱい南国の果物を味わえます! マンゴやバナナが好きな方にはたまらない一品! (元スタッフ/三軒)</p>	<p>6 クリスピーブルーベリー 渋谷店オープンしてすぐのころって人も多かったこの商品! トッピングがなくてもフレンチトーストにもなるブルーベリーがサンドされた、甘酸っぱいチョコやブルーベリーもたっぷり! コーンフレークのザラザラ感がたまらなくなります! (原宿店/原宿)</p>	<p>7 クレセント ソニーさんとのコラボの10周年記念と重なった特別な一品でした。ストロベリーソースもかかってチョコに大人気だったクレセント! パナナがフレンチトーストにもサンドされた、優しい甘さのうっとりしちゃう一品です。 (元スタッフ/三軒)</p>
<p>8 アサイー&カシス スーパーフードの火付け役だったアサイーを焼いた人気商品! アサイーの特殊な風味とカシスソースの甘酸っぱさがたまりません。トッピングのグラノーラと一緒に食べるのが1日に必要な糖質をフレンチトーストです! (元スタッフ/三軒)</p>	<p>9 ベリー 紫〜いベリーとさっぱりピンクグレープフルーツがフレンチトーストとの相性抜群! ベリー&アイスクリームで食べてもかわいらしい! 見た目もピンクが可愛いく、女子にイチゴの合点です! (元スタッフ/三軒)</p>	<p>10 チョコレートファッジ 濃厚なアーモンドプードルをサンドし、チョコレートのアレンジをたっぷりしみませたこの商品。チョコソースにチョコトッピングまでトッピングされた、まろくんとしたの濃厚感です。カカオのしっとりとしたチョコを焼いた、ちょびりチョコの風味がたまらなく食べられます! (元スタッフ/三軒)</p>	<p>11 アルムグレイ 最近バージョンを上げて海外に話題になったアルムグレイの初代バージョン。梨干とフルーツがマッチした爽やかな味わい! アフターンティーにぴったりです。 (原宿本店/中野)</p>	<p>12 ビーナツバター&ジャム アメリカでは「ベイクド」という定番の組み合わせですが、当店で初めて食べた! という方も、私も、毎日のフレンチトーストで定番の組み合わせの甘みと、ピーナツバターの香ばしさが絶妙なハーモニーを奏でます。 (三軒/石神井)</p>
<p>13 フラワー イベントに際しては他の商品に負けません! 食べられるお花が大人気! 大人に大人に人気の一品。チョコベリージャムが特製のジャムとセンセーショナルなこの商品。ローズジャムとアプリコットジャムのフレンチトーストにイチゴやブルーベリーもたっぷり焼かれます! (原宿本店/原宿)</p>	<p>14 アップル&シナモン カリカリのフレンチトーストに濃厚なマスカルパネクリームとレーズンとスパイスの効いたりんごジャムがベストマッチ! フレッシュアップもたっぷり焼かれます! 焼き芋に食べられるフレンチトーストです。 (原宿店/メグロ/原宿/下町)</p>	<p>15 トリプルナッツ ナッツをローストしている時の香りがキッチンに広がる、後で美味しくなるデザート! 美味しいデザートと見た目と合わせて最高のデザート! オトナ女子に食べていただきたいです! (原宿/三軒)</p>	<p>16 チョコレートブレン 海ーバーを焼いたフレンチトースト。おはカリッと、中はじゅわっとチョコレートが溶け出し、濃厚な味わい。シンプルだけどチョコ好き必見の一品! (原宿本店/原宿)</p>	<p>17 オレンジ&アメル オナクとマーマレードがサンドされた濃厚フレンチトーストにブルーベリーがたっぷりトッピングされた一品。3種類のオレンジのソースもかかって甘さと酸味の絶妙なバランス! スタッフに熱烈ファンが多いのも嬉しい一品です。 (原宿本店/中野)</p>



《シュクレイ》



WE PROMISE TO MAKE EVERY SWEETS LOVER
HAPPY WITH OUR PRODUCTS

●ザ・メープルマニア1日子ども店長キャンペーン IN 阪急うめだ本店

大阪初登場のザ・メープルマニア。子ども店長の可愛らしい歌とダンスでメープルの甘い香りを届けました。



《株主懇談会での取組み》

- 2016年6月28日(火)に定時株主総会終了後に開催された株主様との懇談会
全国各地のプレミアム・ギフトスイーツが株主様との貴重な時間を彩りました。

